

# 地域と連携した人材育成 「米沢市ものづくり地域産業化研究協議会」の取り組み

山形県立米沢工業高等学校  
土 屋 仁

## 1 はじめに

本校は平成8年に系・コース制（3系12コース（8学科））に学科改編し、平成9年には広大な敷地で新校舎での授業がはじまった。その後、二度の学級減に伴い、現在は類・コース制（3類9コース（6学級））で運用している。

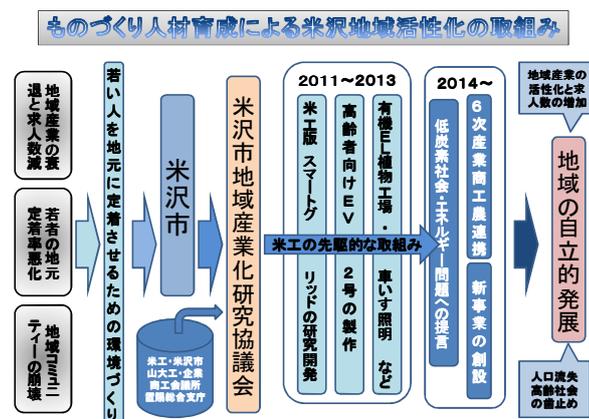
急速な少子化に伴い地元中学生の減少から、学級減はやむを得ずだが、今まで本校で築き上げてきた工業の各分野の教育実績と、充実した施設設備を活かしながら継承すべく現在のカリキュラムに至っている。

## 2 地域と連携した人材育成

### 1) 米沢市ものづくり地域産業化研究協議会発足

今後さらなる中学卒業者の減や、地元産業の衰退化。置賜地区の中核をなす米沢市の人口減少など、地元の産業界の人材を育成してきた本校の役割も大きく変化しつつある。

そこで、米沢市並びに地元産業界、また山工工学部から多くのご支援をいただき、昨年8月に本協議会を発足した。この会は3年計画で本校における先駆的実践的な教育の導入を図り、人材育成や地域社会への活力増進を目的に行われる。



### 2) 協議会の取り組み

この協議会の取り組みは、本校の全日制、定時制、専攻科とオール米工で行われているが、お互いの専門を超えての連携が、視野の広い考えを持ち素晴ら

しいものづくりに繋がっている。その内容は以下のとおりである。

- ①米工版スマートグリッドの挑戦（全日制）  
（スマートエコハウス・マイクロ水力発電・バイオエタノール）
- ②電気自動車2号の製作（全日制）
- ③有機EL植物工場（全日制）
- ④ゼロライト等の活用（専攻科）
- ⑤家庭De菜園プロジェクト（専攻科）
- ⑥車いす照明等と自然エネルギーを利用した発電（専攻科）
- ⑦自転車通学安全グッズ・点字学習支援装置（定時制）
- ⑧小・中学、他高校などへの出前授業や講習会（全校）

その一例として「米工版スマートグリッドの挑戦」の図を下記に示したが、今年度は特にマイクロ水力発電装置が完成し、校舎脇の農業用水路へ設置し発電開始式を行った。



### 3 おわりに

この会は平成25年度が計画の最終年度になり、研究開発の完成で一段落するが、今後の社会環境の変化に伴い、継続的な組織への移行を模索していかなければと考えている。

